

チーム喜中が行く！

諫早市立喜々津中学校
学校だより No.9
文責 校長 山田隆幸

長崎っ子の心を見つめる教育週間

今年度は6月25日(木)～7月1日(水)を「喜々津っ子の心を見つめる教育週間」としてしています。この期間に道徳授業参観や学年PTAなどで学校を開放しています。

初日の今日は、私が「命の講話」として次のような話をしました。

長崎県では、過去、誰もが忘れてはいけない、たいへん痛ましい事件が発生しています。それは、小中学生の手で、幼い命が奪われたものです。

今から23年前(平成15年)の7月1日、長崎市で中学生が幼児を殺害するというショッキングな事件が起きました。また、その1年後(平成16年)の6月1日には、佐世保市内の小学校で同級生を殺害する事件が起きました。

このようなことが続いたことから、平成16年から、長崎の子供たちが、命を輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子に育ててほしいという願いを込めて、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が始まり、今も続いています。

今年度、喜々津中学校では、6月25日から7月1日までの1週間を「喜々津っ子の心を見つめる教育週間」とし、この講話や道徳の授業参観、生徒総会などの実施を予定しています。期間中は、保護者や地域の皆様など、たくさんの方に学校へ足を運んでいただく予定です。ぜひ、この期間に改めて「命」に係る様々なことについて、いろいろな角度から考え、感じる機会にしてほしいと願っています。

では、一つ質問です。皆さんの「命」は、一体どこにあると思いますか。心臓がある胸でしょうか？脳みそがある頭でしょうか？こんな言葉があります。「命とは、私たちが持っている時間のことである。」私たちが生きている時間、そのものが命であると捉えた言葉です。今この一瞬、一秒も、友達と笑い合っている時間も、家で悩んでため息をついている時間も、すべてが皆さんの「命」そのものです。そう考えると、「命を大切にすること」ということは、「自分自身の時間をどう使うか」ということ、そして「周りの人の時間をどう大切にするか」ということにつながっていきます。

学校生活の中で、楽しいことばかりであればよいのですが、時には「なんで自分だけ…」と思うような、しんどいことや壁にぶつかることもあるでしょう。勉強のこと、部活動のこと、人間関係のこと。中学生の時期は、心が大きく成長する分、傷つきやすく、悩みも深くなりやすいものです。もし、目の前に大きな壁が表れて、苦しいな、逃げ出したいなと思ったときは、「この困難をどう楽しんで乗り越えてやろうか」という、思考の転換を試みてください。いつも言っている「自分が楽しく」生活するヒントにつながります。

「自分は楽しく」は、好きなこと、楽なことだけを、面白おかしくするというだけではありません。好きなことにはもちろん、一生懸命取り組んでほしいと思っています。しかし、きついことを我慢したり、これまで以上の努力をしたりして乗り越えることで強い心が育っていくのは事実です。苦しく、しんどいことから逃げ出さないことは大切なことなのです。しかし、ずっと我慢ばかりしたり、無理な努力をずっと続けたりしていると、心がぽっきり折れてしまうことがあります。そうならないように、考え方を柔軟に変えてみて、きついことも、その先にある成長した自分に期待して、楽しんでみる、くらいの強い心を持ってほしい、ということです。そしてもう一つ大切なことは、人に頼ることも大切にしてほしいということです。一人で乗り越えられないことも、誰かと一緒なら何とかなるものです。人に頼ることを弱さと捉えるのではなく、より強い自分になるために必要なことであると捉えてほしいと思います。

もう一つ、いつも皆さんに話している「人に優しく」することについて覚えておいてほしいことがあります。それは、「人に優しくあるためには、まず自分を大切にすることを忘れないでほしい」ということです。自分を大切にすると優しさで自分をいっぱいにするので、誰かに優しさを分けてあげることができるのだと思います。今日、家に帰ったら、毎日頑張ってくれている自分の身体と心に、「今日も一日頑張ってくれてありがとう」と声をかけてあげてください。学校はいろいろな人が集まる場所です。自分とは考え方の違う人、違うペースで生きている人がいます。自分を大切にできるようになると、自然と「あの人の頑張りも、この人の悩みも、その人の命の時間なんだな」と、周りの人に優しくなれます。一人一人が自分を大切にし、お互いに優しさを分け合うことができれば、この学校は、そして世界は、もっと「みんなで幸せになれる場所」になります。ちょっと大げさかもしれませんが、私はそう信じています。

このこととあわせて、みなさんに5つのメッセージを送ります

- 1 あなた方一人一人は、家族や友達、先生方にとって、とても大切な存在であり、その命はかけがえのないものです。
- 2 人は、誰にでも心が苦しい時があり、不安や悩みを抱えることは当たり前です。
- 3 心が苦しい時は、自分一人で考え込まず、誰かに相談してください。あなたの周りには、家族や友達や先生方など、話を聞いてくれる人が必ずいます。
- 4 どんな苦しさも、いつまでも続くものではなく、必ず新しい生活が始まり、心の様子は良い方向へ変わっていきます。
- 5 苦しんでいる人がいたら、話を聞いてあげると、苦しんでいる人の心が軽くなります。そんな時は、家族や先生などにも相談して、助けを求めることも忘れないでください。

この5つのメッセージと、
先に話した「人にやさしく 自分は楽しく みんなで幸せになる」
そして、生徒会スローガンの 「WING～自分の翼を信じて～」

を胸に、「命」について思いを深くする一週間にして、お互いの心を大切にできる、幸せな喜々津中学校を作る大きなきっかけとしていきましょう。

↑今回もスライドを見せながら話をしました。次ページ以降をご覧ください。

命を輝かせる

喜々津っ子の心を見つめる教育週間

© NotebookLM

私たちがこの一週間を 過ごす理由

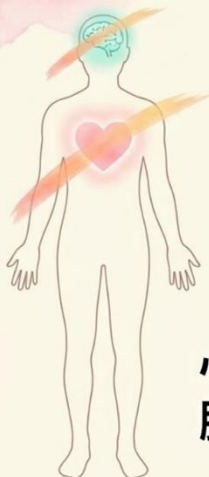
過去の痛ましい
出来事から学んだ
大切な教訓。

「命を輝かせて生きる、
心豊かな長崎っ子に
育ってほしい」
という強い願い
(平成16年スタート)。

そして今、
喜々津中学校の皆さんへ。
命について、
様々な角度から考え、
感じるための
特別な時間。

© NotebookLM

あなたの「命」は、一体どこにあってと思いますか？



心臓がある胸でしょうか？
脳みそがある頭でしょうか？

© NotebookLM

命とは、私たちが持っている 時間のことである。

私たちが生きている時間、
そのものが「命」です。

© NotebookLM

あなたの時間を彩るもの

友達と笑い合っ
ている時間

家で悩んでため息
をついている時間

授業や部活に
打ち込む時間

「命を大切にする」
＝
「自分自身の時間を
どう使うか」
そして
「周りの人の時間を
どう大切にするか」

© NotebookLM

楽しいことばかりではない毎日

勉強のこと

部活動のこと

人間関係のこと

心が大きく成長する中学生の時期は、傷つきやすく、悩みも深くなりやすい。
「なんで自分だけ…」と、逃げ出したいくなるような壁にぶつかることもあります。

© NotebookLM

頑張りすぎると…

一人で抱え込む（我慢と無理）



心がぼろぼろ折れてしまう。

思考の転換と、人に頼ること



「この困難をどう楽しんで乗り越えてやろうか」と視点を変える。人に頼る。一人で無理なことも、誰かと一緒なら何とかなる。

人に頼ることは「弱さ」ではありません。より強い自分になるために必要なことです。

© NotebookLM

人に優しくあるために、まず自分を大切に



Step 1 自分を満たす

毎日頑張っている自分の心と身体に、「今日も一日頑張ってくれてありがとう」と声をかける。

Step 2 他者を思いやる

自分を大切にできると、「あの人の頑張りも、悩みも、その人の命の時間なんだ」と自然に優しくなれる。

Step 3 みんなで幸せに

お互いに優しさを分け合うことで、学校がもっと幸せな場所になる。

© NotebookLM



あなたはかけがえのない大切な存在。

あなた方一人一人は、家族や友達、先生方にとって、とても大切な存在であり、その命はかけがえのないものです。

© NotebookLM



不安や悩みを抱えるのは当たり前。

人は、誰にでも心が苦しい時があり、不安や悩みを抱えることは決して特別なことではありません。

© NotebookLM



一人で抱え込まず相談して。

心が苦しい時は、自分一人で考え込まず、誰かに相談してください。
あなたの周りには、家族や友達や先生方など、話を聞いてくれる人が必ずいます。

© NotebookLM



苦しさは永遠ではなく、 状況は良くなっていく。

どんな苦しさも、いつまでも続くものではありません。
必ず新しい生活が始まり、心の様子は良い方向へ変わっていきます。
心の様子は良い方向へ変わっていきます。

© NotebookLM



苦しんでいる人の話を聞き、 助けを求めよう。

苦しんでいる人がいたら、話を聞いてあげると心が軽くなります。
そんな時は、家族や先生などにも相談して、
大人の助けを求めることも忘れないでください。

© NotebookLM

一緒に前へ進もう

学校スローガン
「人にやさしく 自分は楽しく
みんなで幸せになる」

生徒会スローガン
「WING～自分の翼を信じて～」

お互いの心を大切にできる、幸せな喜々津中学校を作っていきましょう。

© NotebookLM